

令和 7 年度早島町一般廃棄物処理実施計画

1. 計画の趣旨

(1) 目的

一般廃棄物処理実施計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物の排出の抑制、減量化・再生利用の推進、収集・運搬、処分等について、年度ごとに定める計画である。

(2) 計画期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までとする。

(3) 計画範囲

本計画の範囲は、本町において発生する一般廃棄物を対象とする。(イトーピア団地早島町分は、倉敷市に委託しているため除く。)

2. ごみ処理実施計画

(1) 排出の状況

①排出量の推計

(単位：t)

| 区 分 | 現況（令和 6 年度） (令和 7 年 3 月 31 日) | 令和 7 年度 |
|------|----------------------------------|----------|
| 可燃ごみ | 3,455.49 | 3,738.73 |
| 不燃ごみ | 162.60 | 203.22 |
| 資源ごみ | 240.01 | 300.07 |
| 合計 | 3,858.10 | 4,242.02 |

※可燃ごみ・不燃ごみ量は、第 2 次一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」のごみ排出量の推計（目標値）を基に見込量を算定。

②分別区分

| 区 分 | | | 種 類 |
|-----------------|------------------|--|---|
| 収集 ごみ | 可燃ごみ | | 生ごみ、木、竹類、ゴム皮類、プラスチック類、 その他燃やせるごみ |
| | 不燃ごみ | | ガラス類、陶磁器類、大理石類、金属類、ホーロー製品、 化粧品のビン類、その他燃やせないごみ |
| | 資源ごみ | | 紙類（新聞紙、ダンボール、雑誌類、紙パック、その他紙類） |
| | | | 金属類（スチール缶、アルミ缶、スプレー缶） |
| | | | びん類（生びん、雑びん） |
| | | | 布類（衣類、毛布） |
| | | | ペットボトル（ペット1マークのみ） |
| | | | トレー・発泡スチロール（拠点回収による） |
| 廃乾電池 水銀体温計 | | 廃乾電池、水銀入り体温計・血圧計・温度計・蛍光管等 | |
| 粗大ごみ (戸別収集) | 可燃 | 可燃ごみのうち、重さが 20 k g 以上または長さが 1 m 以上のもの、戸別収集を希望するもの | |
| | 不燃 | 不燃ごみのうち、重さが 20 k g 以上または長さが 1 m 以上のもの、戸別収集を希望するもの | |
| 搬入 ごみ | 粗大ごみ (自己搬入) | 可燃 | 可燃ごみのうち、重さが 20 k g 以上または長さが 1 m 以上のもの、自己搬入を希望するもの |
| | | 不燃 | 不燃ごみのうち、重さが 20 k g 以上または長さが 1 m 以上のもの、自己搬入を希望するもの |
| 収集 しない ごみ | | | タイヤ、バッテリー、オイル、消火器、モーターバイク、 劇薬・農薬、煉瓦、瓦、ブロック、石・土、コンクリート片等 |
| | メーカーによる リサイクル | | 家電リサイクル法対象機器 4 品目（ブラウン管テレビ・ 液晶テレビ・プラズマテレビ、冷蔵庫・冷凍庫、エアコン、洗濯機・衣類乾燥機）、デスクトップパソコン、ノートパソコン |

(2) 処理主体

| 区 分 | | | 主 体 |
|-----|----|------|------------------------------|
| 家庭系 | 可燃 | 収集運搬 | 町の委託事業者 |
| | | 中間処理 | 倉敷市（水島清掃工場） |
| | | 再資源化 | 倉敷市（みずしま資源再生センター） |
| | 不燃 | 収集運搬 | 町の委託事業者 |
| | | 中間処理 | 町（早島町一般廃棄物埋立処分地） |
| | | 最終処理 | 町（早島町一般廃棄物埋立処分地） |
| | 資源 | 収集運搬 | 町及び町の委託事業者 |
| | | 中間処理 | 町（早島町一般廃棄物埋立処分地）及び再生業者 |
| | | 再資源化 | 再生業者 |
| 事業系 | 可燃 | 収集運搬 | 町の許可事業者 |
| | | 中間処理 | 倉敷市（水島清掃工場） |
| | | 再資源化 | 倉敷市（みずしま資源再生センター） |
| | 不燃 | 収集運搬 | 町の許可事業者 |
| | | 中間処理 | 町（早島町一般廃棄物埋立処分地） |
| | | 最終処理 | 町（早島町一般廃棄物埋立処分地） |
| | 資源 | 収集運搬 | 事業者ごとの処理 （事業者から再生業者へ引き渡し） |
| | | 中間処理 | |
| | | 再資源化 | |

(3) 排出抑制・資源化計画

①排出抑制のための施策

| 施 策 名 | 内 容 |
|-----------------|--|
| 可燃ごみの減量化 | 計画的な食料購入、作りすぎ・食べ残しの防止、生ごみ水切りの徹底、可燃ごみへの紙類等の資源ごみの混入防止などを呼びかける。 |
| H P、広報紙等による情報発信 | ごみステーションや埋立処分地のごみ排出の現状を定期的に掲載し、排出者の意識の改善を図る。 |
| マイバッグ持参運動の推進 | マイバッグ持参を呼びかけ、レジ袋の削減を進める。 |
| 食品ロスの削減 | フードドライブ事業を実施し、食品ロスの削減や未使用食品の有効利用を図る。 |
| 子ども服・絵本のリユース事業 | ごみの減量化や子育て世帯の負担軽減対策として、家庭で不要になった子ども服・絵本を回収し、必要な方へ無料で譲渡する。 |
| 環境学習の実施 | 教育現場との連携を検討。(資料の提供・処理施設の見学等) |
| 事業系ごみの排出抑制 | 事業所等への分別等の指導・助言等を行う。 |
| 自治会等への働きかけ | 各自治会のごみ減量化推進委員等と連携し、自治会向けに啓発を行う。(一斉清掃の際のごみ排出方法の指導、ごみステーションへの啓発チラシの貼付等) |
| 町庁舎からの排出抑制 | 環境に配慮した製品の購入を検討し、無駄のない効率的な業務を行う。排出したごみは分別を徹底し、適正な処理を行う。 |

②資源ごみの資源化

資源ごみ及び廃乾電池・水銀入り廃製品は、各再生業者に引き渡し資源化を行うこととする。

③可燃ごみの資源化

可燃ごみの焼却処理後に発生する焼却灰については、倉敷市のみずしま資源再生センターにて資源化を行うこととする。再資源化施設の概要は以下のとおりである。

| | |
|--------|---------------------------------------|
| 施設名称 | みずしま資源再生センター |
| 所在地 | 倉敷市水島川崎通 1-20-2 |
| 竣工年月 | 令和 5 年 10 月 |
| 処理能力 | 153.6t (24h、1 炉) |
| 敷地面積 | 22,400 m ² |
| 建築面積 | 4,228 m ² |
| 構造 | 鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造(建屋) RC 造、鋼製(プラント) |
| 炉形式 | 向流型ロータリーキルン炉(焼成炉) |
| 受入設備 | トラックスケール |
| 投入方法 | 重機(ホイールローダー) |
| ガス冷却方式 | 急速冷却方式(水噴霧) |
| 除じん方式 | 乾式集じん方式(バグフィルター) |
| 通風方式 | 押込誘引方式 |
| 煙突高 | 30m |
| 処理対象物 | 燃え殻、ばいじん |

④不燃ごみ中の資源物の回収

不燃ごみに混入した金属類、びん類等の資源物については、手作業で選別し再生事業者へ引き渡す。また、使用済み小型電子機器についても、手作業で選別した後、認定事業者へ引き渡し資源化を行う。

(4) 収集・運搬計画

①可燃ごみ・不燃ごみの収集日と収集地区

| 収集地区 | 分別 | 収集日 | 対 象 地 区 |
|------|------|--------------|---|
| A 地区 | 可燃ごみ | 月曜日 木曜日 | 矢尾、日笠山、若宮、無津、塩津、官舎、 大池、真磯台、市場、備南台、金田、 畑岡、噂島、下野 |
| | 不燃ごみ | 第 1、3 水曜日 | |
| B 地区 | 可燃ごみ | 火曜日 金曜日 | 中山、ニュー早島、頓行、長津、小浜、 塩地、花町、片田、弁才天、宮崎、舟本、 前潟、下前潟、三軒地、久々原 |
| | 不燃ごみ | 第 2、4 水曜日 | |

②資源ごみ及び廃乾電池・水銀入り廃製品の種類別の収集日

| 資源ごみの種類 | 収 集 日 |
|--------------|---------|
| 紙 類 | 第 1 土曜日 |
| 金 属 類 | 第 2 土曜日 |
| び ん 類 | 第 3 土曜日 |
| 廃乾電池・水銀入り廃製品 | 第 3 土曜日 |
| 布類・ペットボトル | 第 4 土曜日 |

③家庭系ごみの収集運搬体制

| 区 分 | | 収集場所・方法 | 収集運搬主体 | 搬入先 |
|-------|--------------|-------------|-------------|---------------|
| 家庭系ごみ | 可燃ごみ | ごみステーション | 町の委託業者 | 水島清掃工場 |
| | 不燃ごみ | | 町の委託業者 | 早島町一般廃棄物埋立処分地 |
| | 自己搬入ごみ | 自己搬入 | 排出者 | 水島清掃工場 |
| | | | | 早島町一般廃棄物埋立処分地 |
| | 戸別収集ごみ | 戸別収集 | 町の委託業者 | 水島清掃工場 |
| | | | | 早島町一般廃棄物埋立処分地 |
| | 資源ごみ | 紙類 | リサイクルステーション | 町の委託業者 |
| | | | 自己搬入 | 排出者 |
| | | 金属類 | リサイクルステーション | 町の委託業者 |
| | | | 自己搬入 | 排出者 |
| | | | 町内の空き缶回収機 | 町 |
| | | びん類 | リサイクルステーション | 町の委託業者 |
| | | | 自己搬入 | 排出者 |
| | | 布類 | リサイクルステーション | 町の委託業者 |
| | | ペットボトル | リサイクルステーション | 町の委託業者 |
| | | 発泡スチロール | 町内のトレイ回収かご | 町 |
| | 廃乾電池・水銀入り廃製品 | リサイクルステーション | 町の委託業者 | 早島町一般廃棄物埋立処分地 |
| | | 町内の回収かご | 町 | |
| | | 自己搬入 | 排出者 | |

④事業系ごみの収集運搬体制

| 区 分 | | | 収集場所・方法 | 収集運搬主体 | 搬入先 |
|------------------|--------|-------------|------------------------------|-----------------|---------------|
| 事業系ごみ | 自己搬入ごみ | 可燃 | 自己搬入 | 排出事業者 | 水島清掃工場 |
| | | 不燃 | | | 早島町一般廃棄物埋立処分地 |
| | 収集ごみ | 可燃 | 事業者ごとに収集 | 町の許可業者 | 水島清掃工場 |
| | | 不燃 | | | 早島町一般廃棄物埋立処分地 |
| | 資源ごみ | 紙類 | 事業者ごとの処理 (事業者から再生業者へ引き渡し) | | |
| | | 金属類 | | | |
| | | びん類 | | | |
| | | 布類 | | | |
| | | ペットボトル | | | |
| | | トレー・発泡スチロール | | | |
| 廃乾電池・ 水銀入り廃製品 | | | | | |
| 産業廃棄物 | | | 事業者ごとに収集 | 産業廃棄物 収集運搬業者 | 産業廃棄物処理業者 |

(5) 中間処理計画

①可燃ごみ

倉敷市に委託し、年間を通して、水島清掃工場へ搬入して焼却処理を行う。施設の概要は以下のとおりである。

| | |
|--------|------------------------------|
| 施設名称 | 水島清掃工場 |
| 所在地 | 倉敷市水島川崎通 1 - 1 - 4 |
| 竣工年月 | 平成 6 年 12 月 |
| 処理能力 | 300t/24h (150t/24h×2 炉) |
| 敷地面積 | 9, 917 m ² |
| 建築面積 | 4, 377 m ² |
| 構造 | 鉄骨鉄筋コンクリート造 |
| 炉形式 | 全連続式ストーカ炉 |
| 受入設備 | トラックスケール |
| 投入方法 | ピット&クレーン |
| ガス冷却方式 | 廃熱ボイラ |
| 除じん方式 | 乾式 (消石灰吹込) バグフィルタ +触媒脱硝装置 |
| 通風方式 | 強制 (平衡) |
| 煙突高 | 59m |
| 処理対象物 | 可燃物 |

②不燃ごみ

不燃ごみは早島町一般廃棄物埋立処分地にて、混入した可燃ごみや資源物等を手作業で分別した後、破碎処理を行う。※不燃ごみの処理施設の概要は（６）①に同じ。

（６）最終処分計画

①不燃ごみ

中間処理を行い破碎した不燃ごみは、早島町一般廃棄物埋立処分地で埋立処分を行うこととする。不燃ごみの最終処分施設の概要は以下のとおりである。

| | |
|--------|-------------------------|
| 施設名称 | 早島町一般廃棄物埋立処分地 |
| 所在地 | 都窪郡早島町矢尾 1242-3 |
| 埋立開始年度 | 昭和 56 年 6 月 |
| 埋立面積 | 42,000 m ² |
| 埋立容量 | 224,000 m ³ |
| 汚水処理能力 | 130 m ³ /日 |
| 汚水処理方式 | 活性汚泥処理＋凝集沈殿＋急速砂濾過＋活性炭吸着 |
| 処理対象物 | 不燃物、汚泥 |

3. 生活排水処理実施計画

(1) 排出状況

①排出量の推計

(単位：k l)

| 区分 | 現状（令和6年度） | 令和7年度 |
|-------|-----------|--------|
| し尿 | 154.82 | 105.92 |
| 浄化槽汚泥 | 294.86 | 214.06 |
| 計 | 449.68 | 319.98 |

※第2次早島町一般廃棄物処理基本計画「し尿、浄化槽汚泥処理の計画」の中間年度と最終年度における中間処理量（目標値）を基に見込量を算定。

(2) 処理主体

| 区 分 | 種 類 | 施 設 | 主 体 |
|------|----------|--------|----------|
| 下水道 | し尿・生活雑排水 | 下水処理施設 | 岡山県下水道公社 |
| 浄化槽 | し尿・生活雑排水 | 合併浄化槽 | 個人等 |
| し尿処理 | し尿・浄化槽汚泥 | し尿処理施設 | 備南衛生施設組合 |

(3) 排出抑制計画

①広報・啓発活動

生活雑排水対策の必要性、浄化槽の適正管理の重要性等について、地域住民に周知を図るための広報・啓発活動を実施し、排出量の削減に努める。

特に、各家庭ですぐにでも取り組み、効果が期待できる台所や風呂場での対策（廃油や生ごみを流さない、節水を心がける等）について、ホームページや広報紙で呼びかけていく。

②ごみの有料化

排出量に応じた負担の公平化を進め、ごみの排出抑制及び再生利用の推進を図るために、平成11年4月よりごみ処理の有料化を実施し、今日まで継続している。

（４）収集・運搬計画

①し尿・浄化槽汚泥（公共下水道未接続家庭）

公共下水道未接続家庭におけるし尿・浄化槽汚泥の収集運搬は、浄化槽汚泥の清掃業と併せて町の許可業者が行う。

収集したし尿・浄化槽汚泥は、備南衛生施設組合のし尿処理施設に搬入する。

②し尿・生活雑排水（公共下水道接続家庭）

公共下水道に接続している家庭のし尿・生活雑排水については、地下に埋設された下水管を流れ児島湖流域下水道浄化センターに運ばれる。

（５）処理計画

①し尿・浄化槽汚泥（公共下水道未接続家庭）

公共下水道未接続家庭におけるし尿・浄化槽汚泥については、許可業者が収集・運搬を行い、備南衛生施設組合のし尿処理施設である清鶴苑で処理する。

し尿・浄化槽汚泥の処理施設の概要は以下のとおりである。

| | | |
|--------------|-----------|---|
| 施 設 名 称 | | 備南衛生施設組合 清鶴苑 |
| 設置主体名（構成市町村） | | 備南衛生施設組合（早島町、岡山市、倉敷市） |
| 所 在 地 | | 倉敷市茶屋町 1919 |
| 建築年月 | 着 工 | 昭和 58 年 10 月 |
| | 竣 工 | 昭和 60 年 11 月 |
| 敷 地 面 積 | | 8,333 m ² |
| 建 築 面 積 | | 1,998 m ² |
| 処 理 能 力 | | 80kℓ/日 |
| 処 理 方 式 | | 標準脱窒素処理＋凝集沈殿＋オゾン処理＋砂ろ過 ＋活性炭吸着＋抗火石浸漬床 |
| 放 流 先 | | 倉敷川 |
| 処理目標及び上乗せ基準等 | | BOD：10 mg/ℓ SS：5 mg/ℓ |
| 設備内容 | 前 処 理 施 設 | 有 |
| | 希 積 水 | 河川水 |
| | 汚 泥 処 理 | 脱水・場外搬出（乾燥・焼却は H19.7～休止） |
| | 汚泥処分 | 民間委託 |
| | 脱臭方式 | 生物脱臭＋アルカリ洗浄＋活性炭 |

②し尿・生活雑排水（公共下水道接続家庭）

公共下水道に接続している家庭のし尿・生活雑排水については、地下に埋設された下水管を流れ児島湖流域下水道浄化センターに運ばれ、処理された後、児島湖へ放流される。

処理施設の概要は以下のとおりである。

| 施 設 名 称 | | 児島湖流域下水道浄化センター |
|----------------------------|-----------|---|
| 設置主体名（構成市町村） | | 岡山県下水道公社（早島町、岡山市、倉敷市、玉野市） |
| 所 在 地 | | 玉野市東七区 453 |
| 供用開始年月 | | 平成元年 3 月 |
| 敷地面積 | | 53.4ha |
| 処理面積 | | 9,793ha（令和 5 年度） |
| 処理人口 | | 542,900 人（令和 5 年度） |
| 処理能力 | | 295,300 m ³ /日最大（令和 5 年度） |
| 幹線管渠 | | 20.2 km（令和 5 年度） |
| 排除方式 | | 分流式 |
| 処理方式 | | 凝集剤添加、活性汚泥循環変法及び急速ろ過 凝集剤添加、三段硝化脱窒法及び急速ろ過 |
| 放流先 | | 児島湖 |
| 流入水質 （設計値） | COD(mg/l) | 115 |
| | SS(mg/l) | 190 |
| | T-N(mg/l) | 35 |
| | T-P(mg/l) | 4.1 |
| 放流水質 〔令和 5 年度 実 績 値〕 | COD(mg/l) | 5.1 |
| | SS(mg/l) | 1 未満 |
| | T-N(mg/l) | 3.3 |
| | T-P(mg/l) | 0.04 |